

(様式3) 赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金・九州」  
住民支え合い活動報告書

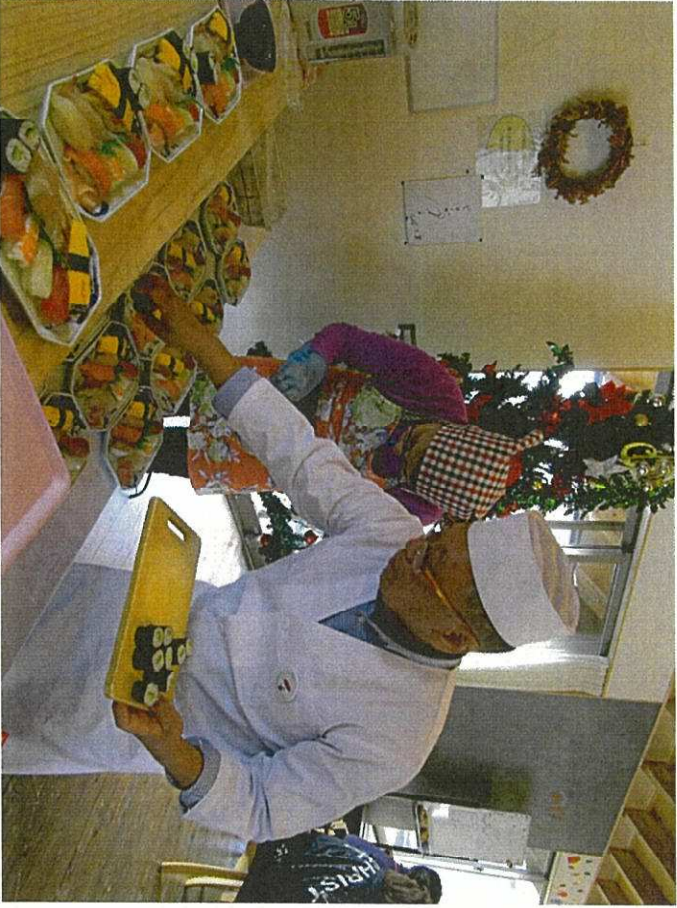
応募団 体	団体名	ふりがな トリバツヨウブドウジンホーム サクラノヒカ 特別養護老人ホーム 桜の丘
	所在地	〒 861-4609 熊本県上益城郡甲佐町大字西寒野1161番地
		TEL 096-234-1191 / FAX 096-234-1108
		メール info@sakuranooka.or.jp
		ホームページ http://sakuranooka.or.jp
代表者名	ふりがな シツヨウ ミヤザキ マキコ 施設長 宮崎 真樹子	
申込責任者名 (連絡先)	ふりがな ミヤザキ マキコ 宮崎真樹子	
	TEL 096-362-6801 / 携帯電話 090-8357-6415 FAX	
実施 結 果	事業名	自旗食堂 集いの会 助成金額 100,000 円
	実施予定時期	平成30年10月1日 ~平成31年3月31日
	実施内容	<input type="checkbox"/> (□) 生活支援活動 <input type="checkbox"/> (□) サロン事業 <input type="checkbox"/> (□) 季節の行事 <input checked="" type="checkbox"/> (☑) 住民交流事業 <input type="checkbox"/> (□) その他 <small>※添付の活動事例をご覧ください。主な該当項目に1つだけチェックをつけてください。</small> 実施した内容、背景、どのような効果があったか、評価、今後の課題などできるだけ具体的に記入ください。 熊本地震後に甲佐町に建設された「自旗仮設住宅」。住民の方達のコミュニティ作りの場にはおぼろげに 毎週「自旗食堂」を開いていました。赤い羽根募金を頂き、仮設の交流がより広がるように、また、 災害公営住宅に初った後もコミュニティを呼び出しているように広く呼びかけて「自旗食堂集いの会」 を開催しました。・10月19日(金) いそりり団作り、12月18日(火) 食事会「握り寿司」 1月8日(火)「おせり料理で新年会」、3月12日(火) 食事会「お別れ会」 いそりり団作りは 集会場いっぱい参加者で、来りやすい方達にも配慮してあげました。食事会は皆さんの要望を 取り入れ実施し、たくさん笑顔が見られ交流も作り深めることが出来ました。 参加人数 (約 120) 名
	参加者の声	<いそりり団作り> ・初めて作りましたが、教えてもらいながら上手に作る事が出来ました。お米に合う美味いものが ・出来上がるまで時間はかかりましたが、待つ間の会話が楽しかったです。 <食事会> ・参加者との会話と食事が楽しくて毎回参加しています。 ・家では作りきれない料理が食べられるのでいつも楽しみにしています。 ・メニューの要望にも応えてもらえるのでうれしいです。
寄付者へのメッセージ	平成29年3月より仮設団地でオープンした「自旗食堂」は、毎週火曜日、仮設団地の方達の交流の場とさせて頂きました。赤い羽根募金により「自旗食堂集いの会」として、常連の方以外にも広く参加していただき、「いそりり団作り」や「いそりり寿司の会」、「おせりを楽しむ会」、「お別れ会」など楽しく交流を深める機会を作ることが出来ました。本当にありがとうございました。	



10月12日(土) 団子作り







12月寿司パーティー



12月 おせち料理



赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金・九州」  
住民支え合い活動報告書

助成団体	団体名	ふりがな こうすね しばわらく 甲佐町 芝原区	
	所在地	〒861-3244 熊本県 上益城郡 甲佐町 芝原824	
		TEL 096-234-0195 / FAX	
		メール	
		ホームページ	
代表者名	ふりがな	みやもと せいし 宮本 青史	
申込責任者名 (連絡先)	ふりがな	みやもと せいし 宮本 青史	〒861-3244 上益城郡甲佐町芝原824
	TEL 096-234-0195 携帯電話 090-7455-7200 FAX		
実施結果	事業名	芝原区住民交流会	助成金額 1004 円
	実施時期	平成 31年 1月20日 ~ 平成 31年 1月20日	
	実施内容	<input type="checkbox"/> 生活支援活動 <input type="checkbox"/> サロン事業 <input type="checkbox"/> 季節の行事 <input checked="" type="checkbox"/> 住民交流事業 <input type="checkbox"/> その他 <small>※添付の活動事例をご覧の上、主な該当項目に1つだけチェックをつけてください。</small>	
		<small>実施した内容、背景、どのような効果があったか、評価、今後の課題などできるだけ具体的にご記入ください。</small> この1~2年で自宅再建を終えられた方々や 2月がやと 地域の災害公営住宅に入居される方々の交流が途絶えて いた中に、全住民を対象に、再建出来た公民館に おいて飲食を交えた住民交流会を企画した。 この地域の状況報告が始められ、再建したお家の話、新しく住まはるお家 公民館の話を持ち寄り、有意義な時間を共有されていた 交流会が一回だけで終わる、継続して場を設けての参加人数(80)名	
参加者の声	みなし仮設のサポートに入居して、週明け知らない人ばかりで 心細かったが、今回の交流会で、夕々に多くの知人と話が弾んで 良かった。楽しい一日を過ごすことが出来た。		
寄付者への メッセージ	皆さんの募金が、ご苦労されていた方々の笑顔に繋がりました。 今後も継続して交流会を開催出来るよう、ご支援頂だけ たら幸いです。ありがとうございました。		



